

■ 会社情報 (2020年12月31日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	207億85百万円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	1976年8月3日	従業員数	886人(連結3,633人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

役員 (2021年3月30日現在)

代表取締役会長	かねこ けんじ 金子 雄二	社外取締役	くどう かずなお 工藤 和直*
代表取締役社長	ふるかわ けんいち 古川 健一	社外取締役	のなみ けんぞう 野波 健蔵*
代表取締役副社長(上席執行役員)	たかぎ けいすけ 高木 圭介	常勤監査役	ほさか あきお 保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	つかもと ひでき 塚本 英樹	常勤監査役	わたぬき ゆういち 渡貫 雄一
常務取締役(上席執行役員)	まえじま ひろふみ 前島 裕史	社外監査役	しもじょう まさひろ 下條 正浩*
取締役	ファン ジンファ 黄 錦華	社外監査役	ながしま たかし 長嶋 隆*
社外取締役	ふるた かつひさ 古田 勝久*	社外監査役	おねたき まり 大滝 真理*
社外取締役	いなさき いちろう 稲崎 一郎*		

*東京証券取引所の定める独立役員であります。

ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

コーポレートサイト



IRサイト



Sodick

株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111

株式会社 ソディック

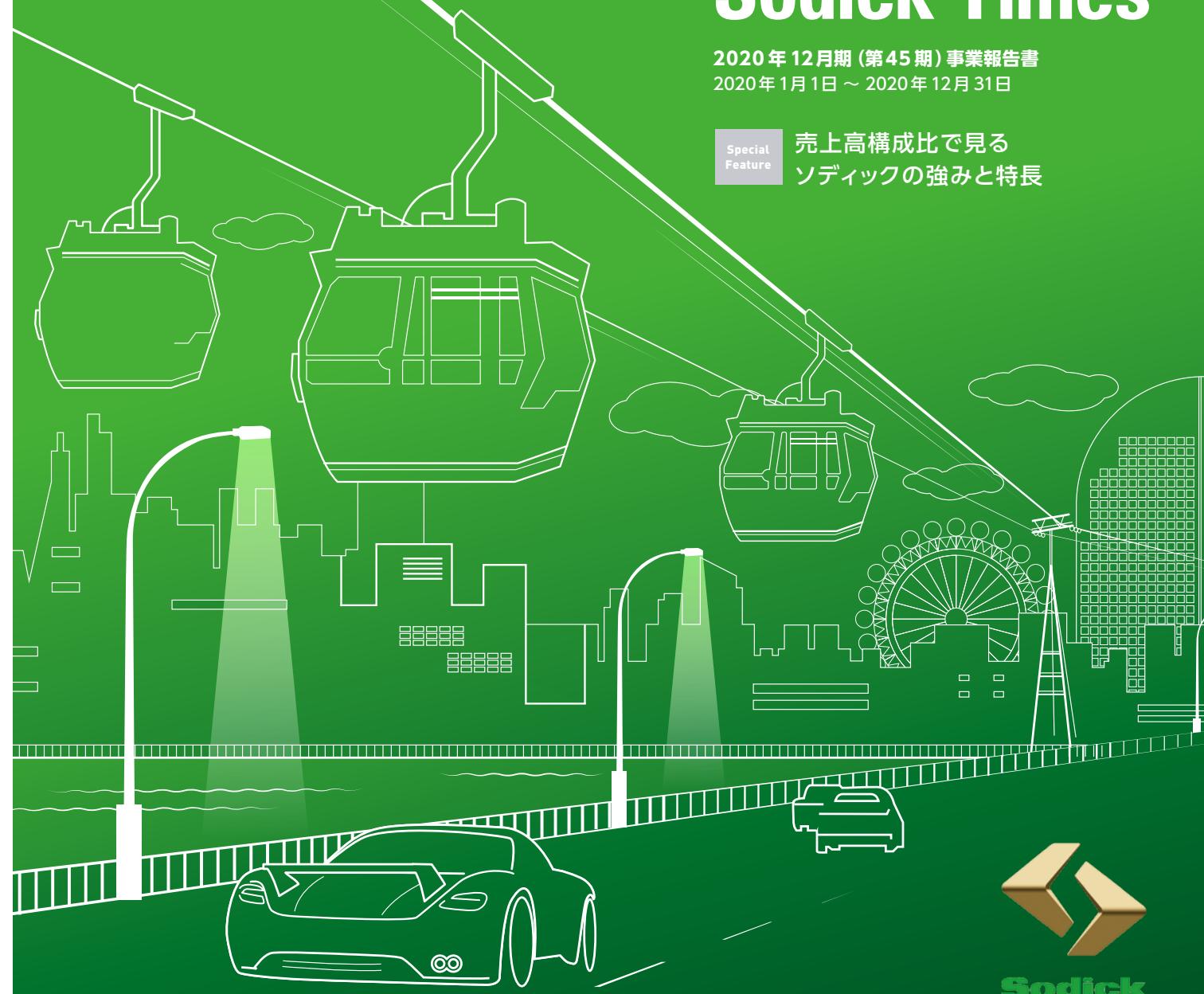
東証1部:6143

Sodick Times

2020年12月期(第45期)事業報告書
2020年1月1日～2020年12月31日

Special
Feature

売上高構成比で見る
ソディックの強みと特長



Sodick

先行き不透明な時代の中 「創造」「実行」「苦勞・克服」の創業精神を基盤に、 ソディックの“企業変革”を進めてまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には、謹んでお見舞い申し上げます。

2020年は、設立50周年を迎える2026年までの長期経営計画「Next Stage 2026～Toward Further Growth～」の2年目の年になりました。

初年度の2019年は米中貿易摩擦の影響によって厳しいスタートとなり、2年目である今期においても世界的な新型コロナウイルス感染拡大によって厳しい事業環境となったため、2020年12月期の売上高は580億30百万円、営業利益は18億52百万円、経常利益は20億46百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は13億46百万円と前期比で減収減益となりました。3年目となる2021年はワクチン接種開始による収束への期待から、年央以降の経済回復が期待されるものの、感染症のさらなる拡大、ワクチン供給の遅れ、各国財政の圧迫等のリスクもあり、不透明感の残る中で事業運営を行っていくこととなります。

配当金につきましては、DOE 2.0%を目指す方針に基づき、2020年12月期は年間配当を25円といたしました。また、2021年12月期は1円増配の年間26円を予定しております。

■ 必要なのは意識の変革

ソディックは「創造」「実行」「苦勞・克服」という創業精神を基盤に、お客様のものづくりに貢献すべく愚直に取り組んでまいりました。

ものづくりは、これまで高精度化・微細化・小型化・軽量化・高強度化が進み、当社はそのニーズに、技術開発をもって応えてまいりました。しかしながら、デジタルトランスフォーメーションの加速や環境課題から派生したEV化、5G等の通信機器の革新、中国の躍進や新興国の急成長によるグローバル化の新潮流、SDGs等、ものづくりの在り方そのものが大きく変化してきており、また、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染拡大、各種自然災害等、予測しえなかったことも次々と発生し、将来の予測が難しい時代となりました。

最も恐れていることは、このように大きく変化している事業環境下においても、社内に「これまで成功してきたのだから、このままの道を進めば大丈夫だ」という意識が蔓延することです。当社が持続的にお客様のものづくりに貢献していくためには、これまでのビジネスの延長上で“改善”していくことは元より、方向性そのものを変える“変革”が必要な段階になったと考えています。そのため、

長期経営計画概要

将来の成長に向けて Toward Further Growth

自動車産業の変革、IoT・AI技術の進化、5Gの普及、新興国におけるものづくりの高度化をはじめ、当社を取り巻く国際的な環境の変化に柔軟に対応しながら、持続的な成長を目指します。



2020年10月に選抜された精鋭メンバーが集う変革準備室を設立しました。事業モデルや組織・経営の仕組みづくり、業界全体の動向を踏まえて製品・サービスの付加価値の見直しについて、ゼロベースで検討を進めています。目指すべきは今後めまぐるしく変わりゆく事業環境下においてサバイバル競争を生き残り、成長を続けるソディックの姿です。

株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

古川 健一

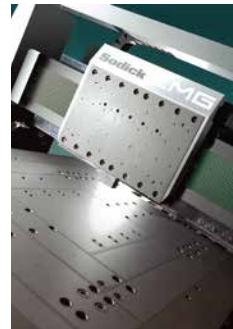
工作機械事業 65.5%

工作機械事業は、安定生産と高品質なものづくりの土台となる金型づくりに重要な役割を担う放電加工機をはじめ、マシニングセンタや金属3Dプリンタ、電子ビームなど幅広いラインナップの製品を提供しています。自動車関連業界や、航空宇宙産業、医療機器、スマートフォン等のエレクトロニクス関連業界など、様々な分野のものづくりに貢献しています。



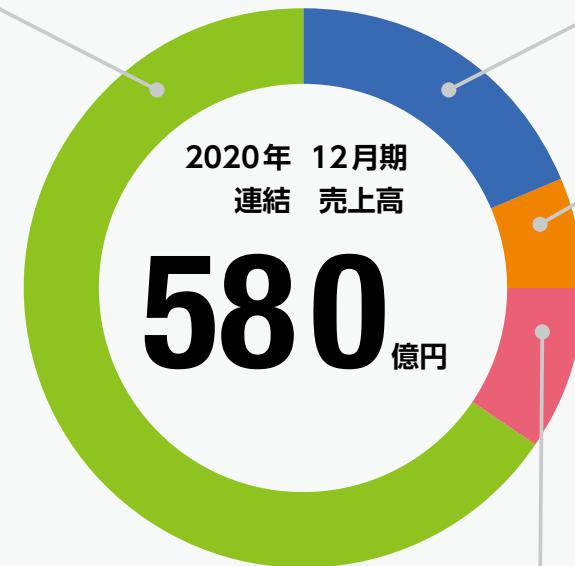
その他事業 9.5%

その他事業は、当社グループの要素技術を活用し、お客様の「ものづくり」をサポートする新しいビジネスモデルを生み出し提供する場として展開しています。モーションコントローラやセラミックスなど、当社の独自技術を活用した製品を多数提供しています。



売上高構成比で見る ソディックの 強みと特長

当社は放電加工機メーカーの先駆者として、創業以来、世界中のものづくりに貢献すべく、4つの事業、工作機械事業、産業機械事業、食品機械事業、その他事業を展開しています。



18.8% 産業機械事業

産業機械事業は、高精度なプラスチック製品を加工する射出成形機等を提供しています。プラスチック部品は、電気・電子部品、カメラのレンズ、自動車、医療機器など様々な製品に使用されています。炭素繊維やガラス繊維などの強化プラスチックやアルミニウム、シリコン等、新素材の加工にも対応するほか、近年脱プラの動きから注目されている生分解性プラスチックの加工の開発にも注力しています。



6.2% 食品機械事業

食品機械事業は、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどで売られているうどん、そば、ラーメンなどの生麺の製造ラインや、パックご飯の製造装置等を提供しています。また、安全・安心で健康的かつ、おいしい食文化を創造していくことにも貢献しています。



売上高実績と計画 (単位: 億円)



売上高実績と計画 (単位: 億円)



売上高実績と計画 (単位: 億円)

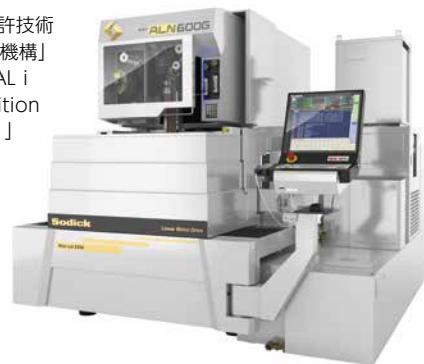


売上高実績と計画 (単位: 億円)



世界初のワイヤ回転機構を搭載したワイヤ放電加工機 ALシリーズの新製品「AL i Groove Edition」シリーズ

▶ 新たな特許技術「ワイヤ回転機構」を搭載したAL i Groove Edition「ALN600G」



「AL i Groove Edition」シリーズはワイヤを回転させることで、高精度の安定化や加工の高速化、省資源化につなげられるワイヤ放電加工機です。

ワイヤ回転機構により、加工物の上面から下面まで常に無消耗のワイヤ面で加工するため、ワイヤを傾斜させる補正が不要となるほか、ワイヤ消耗による面質悪化がなく、ワーク上面から下面まで均一で良質な加工を実現します。

また、仕上げ領域でのワイヤ消費量を削減できるほか、無消耗面での加工により除去効率が高まることで加工時間の短縮が図れます。

自動化・高生産性ニーズに対応した 超高速細穴放電加工機「K4HL」

「K4HL」は異なる穴径の長時間連続加工に対応する細穴放電加工機です。

リニアモータをはじめとする独自の放電制御技術により、ドリルでは困難な細くて深い穴を高精度に高速加工でき、様々な材質で高品位加工を実現します。また、業界初の自動電極供給装置により、自動運転や無人加工、高速・高効率加工を可能にします。

航空宇宙・エネルギー産業、自動車産業、医療機器、電機・電子産業の様々な分野で、

加工ニーズの難易度が高まり、コロナ禍の影響を受け自動化ニーズが加速しています。「K4HL」は、これらにお応えできるハイスペックかつ汎用性に優れた新製品です。

「K4HL」は日刊工業新聞社主催の「2020年（第63回）十大新製品賞本賞」を受賞しました。昨年の「AG200L」、一昨年の「AP30L」に引き続き3年連続の受賞となります。

今回の受賞を励みに、今後もよりよい製品の開発に邁進してまいります。



▼ 高速・高精度な穴加工を“全自動”で実現する「K4HL」



生分解性プラスチックに対応した 射出成形システム「INFILT-V」

生分解性プラスチックとは

「INFILT-V」は生分解性プラスチックの成形加工に対応する不活性ガス溶解射出成形システムです。

生分解性プラスチックは、廃プラスチック有効利用率の低さや海洋プラスチック等による環境汚染といった世界的課題を解決する材料として期待されていますが、溶解したときの粘度が高く成形加工が困難であることが課題でした。

そこで、精密成形品の安定性に優位な

V-LINE®*にさらなる生産性向上を開発コンセプトとした、当社独自の不活性ガス溶解射出成形システム「INFILT-V」を開発し、成形が困難であった生分解性プラスチックでも薄肉で深物の成形加工を容易に実現することが可能となりました。

今後も、持続可能な社会の構築のため、積極的に地球環境にやさしい成形加工技術の開発を推し進めてまいります。

※V-LINE® (V-ライン®)は株式会社ソディックの登録商標です。

生分解性プラスチックは、自然界に存在する微生物の働きで、最終的に水と二酸化炭素に分解され自然界へと循環するプラスチックです。政府が推進するプラスチック資源循環戦略において、再生材の一つとして利用促進が求められています。



高品質な即席麺やチルド麺などのミキシングに適した 大型2軸ミキサ「TM-350W」

「TM-350W」は高品質即席麺やチルド麺などの混練性を高めた大型2軸ミキサです。

近年、即席麺市場は、特にアジアにおける消費量が増加しており、国内においては、自然災害時の備蓄用や昨今の外出自粛に伴う巣ごもり需要により関心が高まっています。

即席麺は生麺と比べて生産量が多いため、製麺設備が大型化する一方、麺質は生麺ほど高くはありませんでしたが、麺質に

こだわった商品ニーズも高まっています。当社では、即席麺の各メーカーの生産体制強化の動きを見据え、大型化による生産性のほか、衛生性と耐久性が向上し、高品質な即席麺やチルド麺などのミキシングに適した「TM-350W」を開発しました。

社会構造や生活様式の変化により、今後も市場の拡大が予想される即席麺市場に向けて、食品機械事業を積極的に展開していきます。



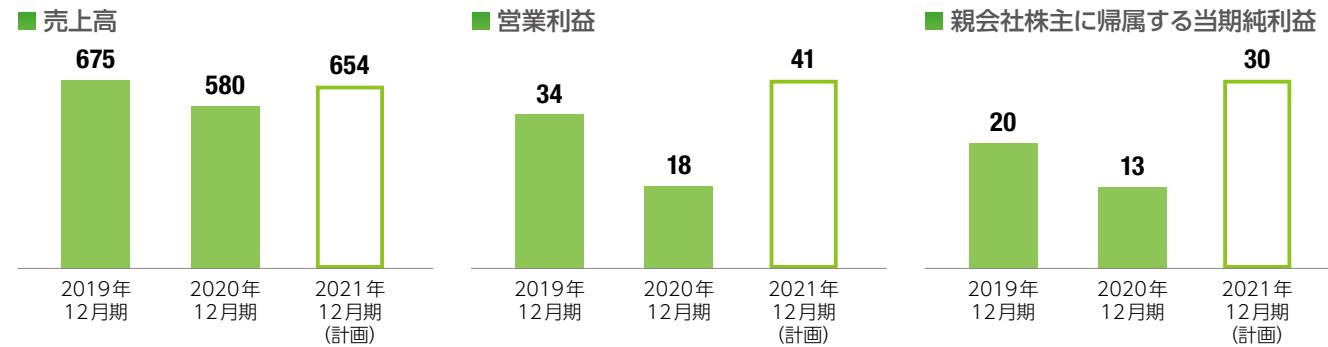
▲ 防錆と色彩を兼ね備えた黒色酸化被膜を施したステンレスを採用、衛生的かつ重厚感のあるデザイン

業績・財務ハイライト

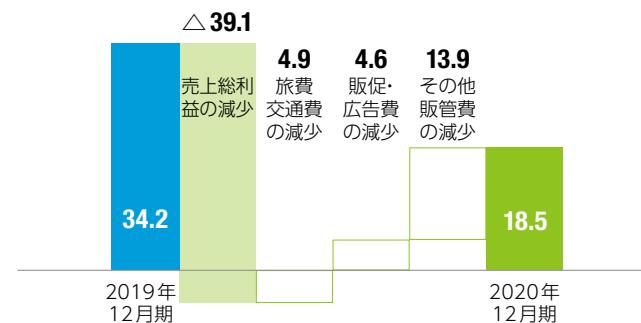
当期の業績について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業の設備投資需要が抑制され前期比で減収。出張の取りやめや展示会の中止が相次いだことによる販管費の減少もありましたが、減収に伴う影響が大きく、前期比で減益となりました。地域別では中国が他地域に先駆けて回復基調となり、中国以外の地域でも期末にかけて持ち直しの兆しも見られました。

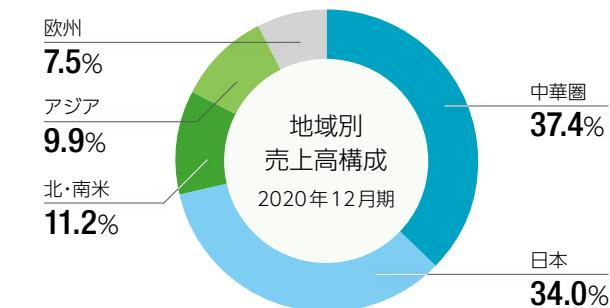
連結損益計算書の概要 (単位:億円)



営業利益変動要因

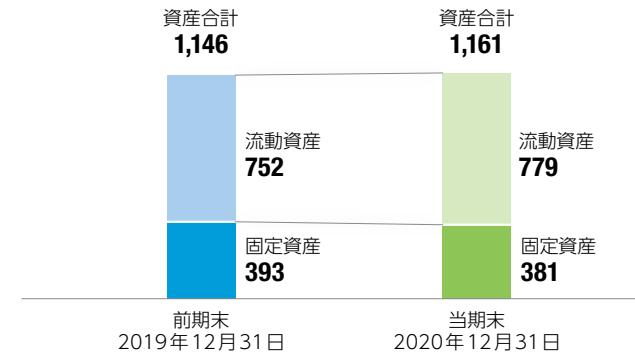


地域別の売上高構成

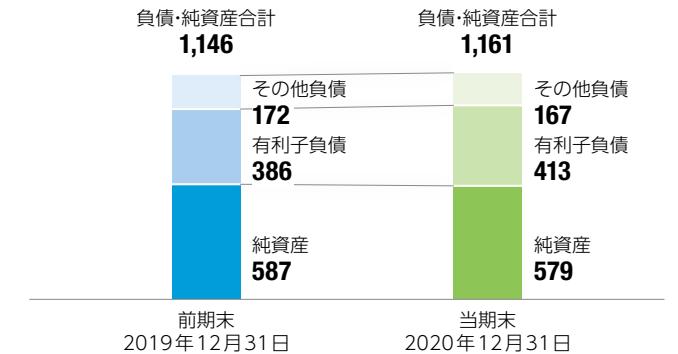


連結貸借対照表の概要 (単位:億円)

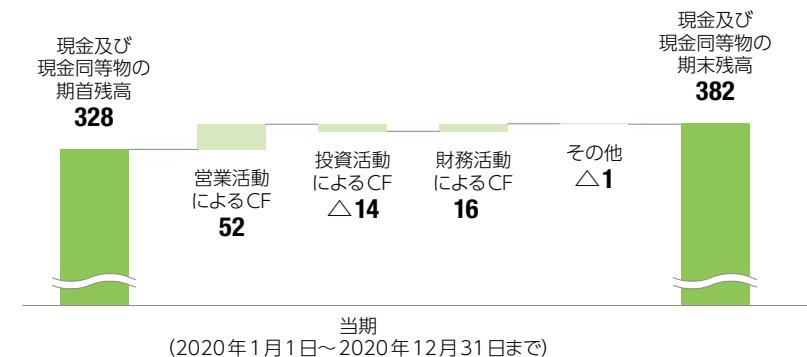
資産の部



負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)



POINT B/S:資産は、現金及び預金が増加し、減価償却累計額、商品及び製品が減少したことなどにより1,161億円(前期末比15億円増加)となりました。

POINT C/F:営業CFは、税金等調整前純利益による増加、たな卸資産の減少等により52億円のプラス。投資CFは、有形固定資産の取得により14億円のマイナス。財務CFは、主に長期借入金により16億円のプラス。現金及び現金同等物の期末残高は382億円(前期末比53億円増)となりました。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報がご覧になれます
https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR

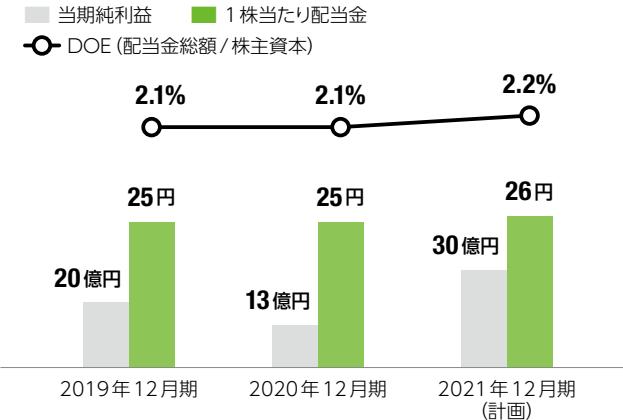
検索



■ 配当方針

当社では、株主還元の状況を示す指標と株主資本を基準にしたDOE（株主資本配当率）を採用しています。

持続的な成長のための研究開発や設備投資に必要な内部留保を確保しつつ、事業特性からくる業績の変動を鑑み、安定かつ継続的な配当を実施するため、DOE 2.0%以上を目標として考えております。



Sodick Lounge



ソディック
ラウンジ

当社をよりよく知っていただくために、当社の取り組みや特徴的な数値などについてご紹介します。

金属3Dプリンタ技術を活用したフェイスシールド用フレームを開発

当社では、新型コロナウイルス感染拡大対策の一環として、当社が培ってきた金属3Dプリンタ技術を活用し、フェイスシールド用フレーム「Face Tech」を開発、2020年7月上旬より供給を開始しました。医療機関、学校法人、スポーツ団体等への寄贈も行い、新型コロナウイルス感染症予防にご活用いただきました。

今後も、工作・産業機械の開発および生産で培ったノウハウや工場設備を活用し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて支援を続けてまいります。



▲ 装着姿

▶ 梱包品



当社のフェイスシールドは、シールド部分にクリアファイル等の文具・日用品を使うことができるほか、細くて滑らかで快適な着け心地とご好評いただいております。

■ 株式情報 (2020年12月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,363,016株
株主数	10,535名

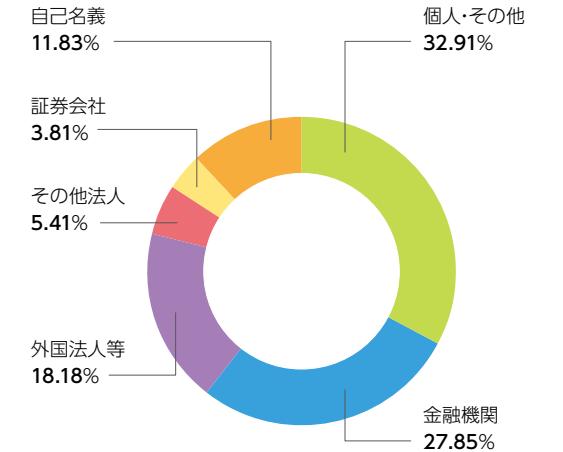
大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	6,310,577	11.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,725,700	6.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,566,700	6.68
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	1,733,200	3.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,241,400	2.33
ソディック共栄持株会	906,300	1.70
有限会社ティ・エフ	895,000	1.68
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
古川 宏子	800,000	1.50
古川 健一	788,101	1.48

株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金:12月31日 ● 中間配当金:6月30日
定時株主総会	毎年3月
公告の方法 (公告掲載URL)	電子公告により行う https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

所有者別株式分布状況



株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 新東京郵便局私書箱29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 証券コード:6143